

# 京浜急行電鉄(株) 新1000形 車両内LED照明



製造初年：平成19年3月  
編成：4両、6両、8両  
定員：119人(先頭車)、130人(中間車)  
構造・規模：ステンレス車、18,000(L)×2,791.8(W)×3,630(H)  
最高速度：130km/h  
完成：平成24年3月

S163

東京・品川と三浦半島を結ぶ京浜急行電鉄。消費電力を削減し、さらなる省エネルギーを目指すため、新造車両内照明にLED照明を採用し、消費電力・CO<sub>2</sub>排出量の削減を図っています。

## 様々な省エネルギー対策の一環として、新造車両内にLED照明を採用

赤い電車でおなじみの京浜急行電鉄では、省エネルギー車両の導入や駅設備の省エネルギー、再生可能な自然エネルギーの活用など、様々な環境対策を実施してきました。その一環として、消費電力を削減してさらなる省エネルギーを目指すため、車両内の照明にLEDを採用することを決定。

平成24年3月から営業開始された新1000形の6両3編成、8両1編成に導入され、従来の蛍光灯照明に比べて消費電力を約30%削減しています。今後の新造車両は全てLEDを導入する予定です。

## 車両内の照明にAC100V40Wクラス特注LEDベースライトを採用し、明るさをアップして快適感と文字を読みやすくしながら、消費電力約30%削減

新1000形の車両は長さ約18m、車幅2.55m、天井高さ2.2mの空間です。従来はAC100V40W蛍光灯直付器具を使用していましたが、今回よりAC100V30W特注LEDベースライト直付器具(昼白色、相関色温度5000K、平均演色評価数Ra70)を採用。天井の左右の凹面に器具を配置して、その中にライン状に納められており、すっきりとした高さ感(広がり感)が得られています。初期平均照度は714lx、天井近くの広告面照度は621lx(いずれも実測値)と、従来より明るさをアップし、快適な光環境が確保されています。

これにより、従来の蛍光灯器具と比較して消費電力は約30%削減、CO<sub>2</sub>排出量は約2.7t(ブナの木のコ<sub>2</sub>吸収量約250本に相当)軽減を可能としています。



天井左右に特注LEDベースライトをライン状に配置し、快適な客室照明が得られている新1000形の新造車両



省エネルギーしながら明るさをアップ

天井の凹面に照明器具を納め、すっきりとした高さ感を形成

特注LEDベースライト40Wクラス

### 主な照明器具一覧 6両編成 1編成分

設置場所	器具名	形名	台数	備考
電車客室	特注LEDベースライト	LEDE-41003W-LS1-K	104	LED 40Wクラス
		LEDE-41003W-LS7-K	12	
乗務員室	特注LEDベースライト	LEDE-21002W-LS7-K	4	LED 20Wクラス

### 主な照明器具一覧 8両編成 1編成分

設置場所	器具名	形名	台数	備考
電車客室	特注LEDベースライト	LEDE-41003W-LS1-K	140	LED 40Wクラス
		LEDE-41003W-LS7-K	16	
乗務員室	特注LEDベースライト	LEDE-21002W-LS7-K	4	LED 20Wクラス